

もっと清水が好きになる。

しみの風

2024

6

No.608

特集

変革への一歩Ⅱ

未来を拓く、新たな農の扉





グローイング ■ フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

杉山 秀代⁽⁶⁷⁾さん

JALしみず理事

〇すぎやま ひでよ／清水区茂畑で柑橘類を約200a栽培する。
JALしみず理事を務め、現在2期目。



■ 趣きのある母屋は、建ててから100年を誇る。

昭和47年(1972)にミカンの値段が大暴落し、ミカン農家の杉山さんの両親は、一度お茶に作物転換した。その後、茶全体の価格が低下するなどの影響で、茶から青島温州やはるみ、ゆら早生などの品種に改植を進め、現在は約200アールで柑橘類を栽培している。

杉山さんは3人姉妹の長女として生まれ、浜松にある全寮制の農業高校で栽培を勉強した。当時、全寮制の学校では女性は少なかったそうだが、長女として家業を継ぐため、しっかり知識と経験を積み、卒業と同時に就農した。

家業を継ぐために就農

仕事もプライベートも 刺激を持って楽しく

自分の育てたものに手応え

県道から曲がりくねった道を茂畑基盤整備地方面へ登っていくと日当たりの良い斜面が見え、そこから清水港、駿河湾まで一望できる場所に杉山さんの家と畑がある。

学校を卒業してから50年余り。農業一筋の杉山さんのやりがいは「自分の育てたものが世に出る喜び」だ。周囲の生産者の高齢化が進み、廃業してしまう仲間が増えていくことが最近の心配のタネだが、「おいしいものを作って、喜んでもらいたい」―その想いを今も持ち続けていることが、農業への熱量が落ちない秘訣だろう。

さまざまな立場からの学び

J Aしみずの理事となって、2期目を迎えている。その間に農政の勉強や組織をまとめる役割を経験してきた。ときに

は関係者の間に立って調整する局面や、若い生産者やJA担当者との交流から、違う世代の考えを知り、学びになる場面も増えた。

「コミュニケーションは大切ですね。」



旅行や登山で撮影した写真。旅先で出会った景色や体験が心身の癒しになっている。



先代から守ってきたミカン畑

リーダーの立場で積極的に関わっていき「たい」と話す。

「ときには仕事以外からの刺激も大事」という杉山さん。山登りや音楽鑑賞、旅行などで違った空気を体に取り入れて、気分のリフレッシュを欠かさない。「良い仕事には気持ちの余裕が大切よ」と明るく笑顔で話してくれた。

CONTENTS

風の風

2024
6
No. 608



記事の一部は
Youtubeで配信
しています。

2 Glowing Face
杉山 秀代さん

4 特集/変革への一步II
未来を拓く、新たな農の扉

8 TOPICS

10 本格畑づくり
～セルリー～

12 営農ワンポイント
～7月編～

15 キッチンと美味しい!すぐできレシピ
～キュウリの焼き春巻き～

16 農業の未来とSDGs

17 いまどき!Youth

18 Information

20 ゆるっと発見!しみずの魅力
～清水地域～

今月の表紙



興津びわ部会
(清水区興津)

興津でピワ栽培を行う興津びわ部会の皆さん。
上段左から中西雅士さん、伏見己代司さん、
飯田通義さん、下段左から伏見勝さん、萩野精彦
さん、望月忠一さん。



変革への一歩 II

未来を拓く、新たな農の扉

JAしみずでは「持続可能な清水の農業」を目指し、農家(生産部会)・JA・行政が連携して新規就農希望者を支援する取り組みを進めています。

今月は南部地域の成功事例とともに、**産地維持と新規就農者の受け入れ**について考えます。

産地縮小の危機!?
地域全体で担い手を育てる

高齢化が進み農業従事者が減少する中、新規就農者の確保は、全国で急務となっています。

そのような中で、南部地域のエダマメ生産組織「フジエス枝豆委員会」では就農希望者を多方面からバックアップする静岡県の事業「がんばる新農業人支援事業」を活用して担い手を育成し、2019年からこれまで、新たに3人がエダマメ生産者として就農しています。

「がんばる新農業人支援事業」は、農業就業人口と産地維持のため、県内外から農業に挑戦しようという人を募集しています。就農希望者は指導農家のもとで1年間、栽培技術や農業経営を実践的に学びながら、関係機関の支援を受けて就農に向けた準備を行う仕組みです。

2016年にフジエス枝豆委員会が10年後の産地がどうなっていくかというシミュレーションを行ったところ、高齢化や後継者がいない現状が浮かび上がり、このままでは農地の4割ほどしか残らないという結果が出ました。

優良な農地があっても、そこを耕し、守っていく人がいなければ、産地を維持することはできません。また、生産量、



事業を利用して就農した新規就農者(右)とJA職員。経営が軌道に乗るよう就農後も地域全体でサポートする。

出荷量が農産物の価格を作る一つの要因になるため、産地の規模を維持することは販売面からも重要なことです。そこで同委員会は担い手の確保に向けて、動き出しました。

事業を活用するにはまず、農家(生産部会)、JA、行政などで構成する組織「地域受入連絡会」を立ち上げる必要があります。さらに、就農希望者の研修機関となるため、作目の登録をします。

当JAではフジエス枝豆委員会が事業

を利用するにあたって地域受入連絡会を発足させ、同時に、エダマメを作目登録して就農希望者の募集を始めました。

就農希望者を 受け入れる仕組み

事業は公益社団法人静岡県農業振興公社が窓口となり農家、JA、行政が連携して就農に導くものです。

連絡会は事業の事務局となり、就農希望者が1年間研修をする指導農家を決め、農地や農業設備などの就農に必要な準備や農業経営の収支計画など、「農地」「資金」「営農技術」の多岐にわたって総合的な支援を行い、産地全体でサポートします。原則、研修を行った指導農家と同じ地域内で就農し、就農後も指導農家やJAが助言をし、農業経営を支援していきます。

新規就農者が経営を安定させるまではおよそ10年、新規就農者が継続的に地域に入るようになるには20年かかるといわれています(JA全中「新規就農者支援対策ハンドブック」より)。長期間にわたって、関係者・関係機関と連携しながら支援することで新規就農者が地域に定着し、新たな受け入れにもつながっていきます。

がんばる新農業人支援事業とは？

静岡県内で独立自営就農を目指す方を受け入れ、指導農家のもとで1年間栽培技術や農業経営を実践的に学んでいただきながら、関係機関の支援を受けて就農に向けた準備を行います。

充実した支援！

指導農家をはじめ、
関係機関が全面的にバックアップ

※受入地域・作目によって、各関係機関の役割が異なります。

指導農家・ 農業法人等

- 栽培技術の提供
- 経営ノウハウの提供
- 農地の確保など

農林事務所(県)

- 各種手続きの支援



JA

- 販路の提供
- 就農後の
営農指導など

市町

- 各種手続きの支援



実績のある事業！

平成16年以降、これまで200名以上が県内で新規就農



就農後も安心！

就農後も指導農家やJA・関係機関から助言を得やすい

中玉トマト「レッドオーレ」でも 就農希望者の募集スタート



昨年、同じ三保半島の特産である中玉トマト「レッドオーレ」でも事業利用のための申請をし、今年度4月より就農希望者の募集が可能となりました。

地域受入連絡会は1JAに1つですが、作目ごと公社が行う審査会の承認が必要になります。1年ほど前から生産部会、JA、行政で手続きに必要な書類や検討事項、スケジュールの確認などを行って審査会に臨みます。申請資料に盛り込む内容は、就農希望者を指導する指導農家、就農希望者が1年間行う研修カリキュラム、就農後5年間の収支計画モデルなどで、部会とJAが協力しながら作成を進めていきます。申請内容が審査会で承認されて初めて、この事業を使って生産部会が新規就農者を募集できるようになります。

また、地域受入連絡会では施設や圃場の空き状況、貸借などの情報を共有し、台帳作りを進めています。

取り組む課題と未来への道筋

現在は、ハウス母部会やバラ部会などでもこの事業を利用した新規就農者の募集ができないか、JAとともに検討を行っています。

生産者の高齢化、農業者の減少はどの作物、どの地域でも抱えている共通の悩みです。産地が今後も産地であり続け、農地を維持していくためには、農業者の確保が重要な課題です。そのためには、生産部会が自分たちの将来に思いを巡らし、産地や地域の農業が今後どうなるのか、どのようにしていきたいのか、現状・課題を可視化し、部会全体で考えていくことがまず、未来への第一歩です。

持続可能な農業を次世代に引き継いでいくためには「担い手」と「農地」の確保、効率的な生産体制や技術の確立など、総合的に取り組む必要があります。

JAは地域社会の一員として今後も農家の皆さんや関係機関と連携し、地域農業の未来のために取り組んでいきます。

地域受入連絡会とは

がんばる新農業人支援事業の受け皿組織

受入農家・作物組織・行政機関等から構成

農家・JA・行政など、産地全体で希望者の就農を支援

産地全体で支援

地域受入連絡会

- ・指導農家
- ・部会
- ・JA
- ・市町
- ・県農林事務所 など

※補助金交付や助成あり

- ・技術指導
- ・農地借入などの支援
- ・就農計画作成の支援
- ・資金借入の支援
- ・就農後の助言 など

- ・事前研修
- ・実践研修

研修生

就農したい！

農業者を増やしたい！



私たちが
サポートします!!



JAしみず
駒越営農拠点
係長

内田 光展

これまで当JA管内でも大学生などの短期研修の受け入れをしていた農家さんがいるので、栽培指導のノウハウはありました。しかし、新規就農者を受け入れるということは、地域の中で長期にわたって農業を営んでもらうことが目的です。

がんばる新農業人支援事業では5年間の経営計画を立てます。目標が達成できるよう伴走し、夢を持って他地域、他産業から農業に飛び込んできてくれた新規就農者が、地域に根付いた営農をしてもらえるよう、サポートしていきます。

新規就農者の声

大村 武男さん

就農年次 / 2023年11月
地域 / 駒越地域
作物 / エダマメ



40歳を機に農業を始めようと思い、インターネットで調べたところ、静岡県農業振興公社のホームページを見つけ連絡をしました。就農前に、静岡県内の農家を訪ねる現地見学ツアーなどに参加させてもらい、情報を集めることができました。

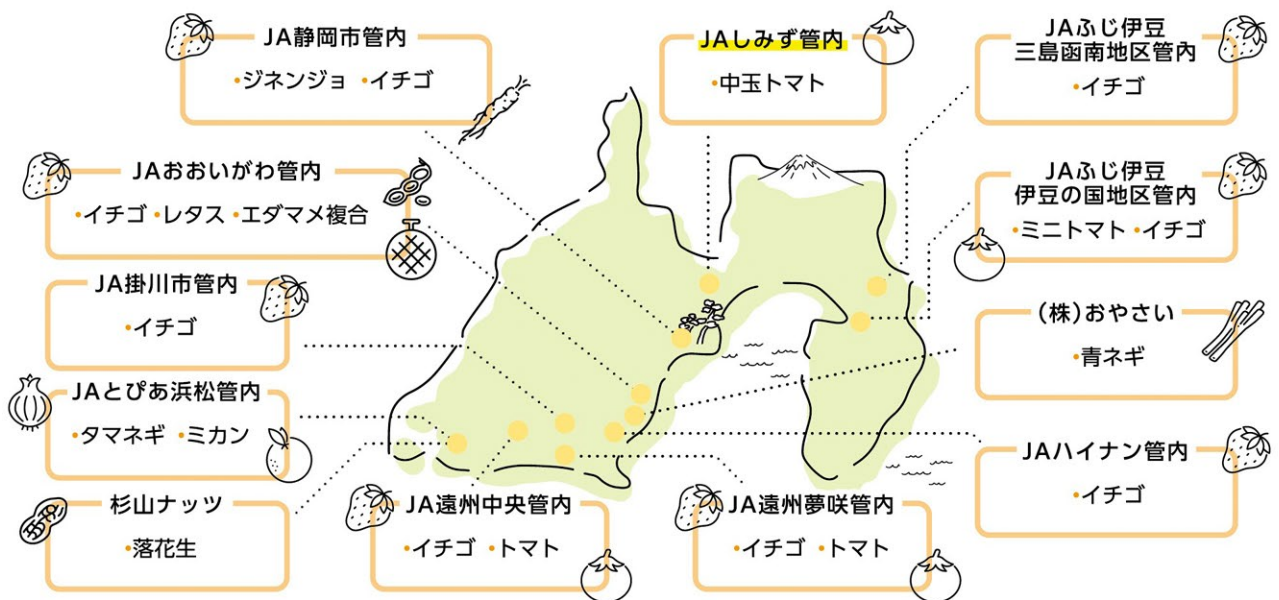
清水で就農しようと思い、最初に指導農家の元で短期間の農業体験をしました。その後、正式に応募して面接を受け、1年間の農業実践研修が始まりました。指導農家の元では、トラクターの運転や、播種から収穫、出荷まで、実際に作業をすることで栽培技術を学びました。

分からないことがあっても、いつも近くに来てくれますし、周りの農家さんもアドバイスをくれるので助かっています。

自分一人だったら、農業をどう始めていいのか全く分からなかったと思います。がんばる新農業人支援事業は、JA・県・市のサポート体制がしっかりしているので、この事業の利用は農業者として独立しやすいやり方だと感じました。

県内の研修募集地域と作物

- ① JAふじ伊豆 伊豆の国地区管内(伊豆の国市) … ミニトマト、イチゴ
- ② JAふじ伊豆 三島函南地区管内(函南町) …… イチゴ
- ③ JA静岡市管内(静岡市) …………… ジネンジョ、イチゴ
- ④ JAしみず管内(静岡市) …………… 中玉トマト*
- ⑤ JAおおいがわ管内(焼津市、藤枝市) …… イチゴ、レタス・エダマメ複合
- ⑥ JAハイナン管内(牧之原市) …………… イチゴ
- ⑦ (株)おやさい(牧之原市) …………… 青ネギ
- ⑧ JA掛川市管内(掛川市) …………… イチゴ
- ⑨ JA遠州夢咲管内(掛川市) …………… イチゴ、トマト
- ⑩ JA遠州中央管内(磐田市、袋井市) …… イチゴ、トマト
- ⑪ JAとぴあ浜松管内(浜松市) …… タマネギ、ミカン
- ⑫ 杉山ナッツ(浜松市) …………… 落花生



*圃場調整の都合上、今年度はエダマメの募集を休止しています。

国際協同組合同盟が来清 農地整備の成果など紹介

国際協同組合同盟(ICA)農業委員会は4月18日、JAしみず管内を訪れ、農地基盤整備事業や、柑橘共選場、「産直プラザふれっぴー」などを視察しました。

JAしみずの石切山誠組合長は「農地基盤整備事業は、地域の皆の思いがまとまってできた農地。ぜひ見てほしい」と話し、韓国やウガンダなど、海外6カ国の農協関係者17人を含む21人の視察団を歓迎しました。

矢部基盤整備地を視察したメンバーからは「地主は何人いるのか」などと質問がありました。



▲ 農地整備事業のメリットなどを聞く視察団

「幸せのお茶 まちこ」 茶摘みスタート 満足の出来

JAしみず管内の茶園で4月25日、ほのかな桜葉のかがりが特徴の「まちこ」の摘採が始まりました。清水区庵原町にある長澤良和さんの6aの茶園では、順調に生育した約100kgのみる芽を刈り取り、「まちこ」生産者が対象の製茶講習会を兼ねて、JAの製茶ラボきらりて荒茶に仕上げました。

長澤さんは「3月は雨が多かったが、満足のいくまちこを収穫することができた」と自信顔で話していました。



▲ 「まちこ」の摘採が始まった庵原町の茶園



部長 (高部)
望月 和加代



副部長 (飯田)
吉川 伊公子



副部長 (高部)
苅和 美千子



副部長 (興津)
米澤 静子

支部長

興津 岩城 路子	飯田 渡邊知恵子
小島 遠藤 初子	高部 栗田 寛子
両河内 大榎久美子	清水 酒井 洋子
庵原 服部 貴子	有度 奥山 浩美
袖師 斉藤 芳美	由比 望月 澄子
	蒲原 米倉 昌子

監査委員

蒲原 服部 博美	清水 鍋田 敏江
----------	----------

女性部通常総会 望月部長を再任 仲間づくり活発に

JAしみず女性部は4月17日、清水テルサで第51回女性部通常総会を開き、女性部員と関係者約300人が出席しました。

2023年度事業報告や24年度の事業計画、新役員を満場一致で承認。女性部長は望月和加代さんを再任、副部長は吉川伊公子さんと苅和美千子さんを再任、新たに米澤静子さんが就任しました。

望月部長は「今年度は旅行やイベント活動も活発にしていきたい。仲間づくりやつながりのある組織になっていければ」と呼びかけました。



▲ 事業計画などを承認した女性部通常総会

フジエス枝豆委員会 出荷用袋を鮮度保持フィルムへ

JAlしみずフジエス枝豆委員会は4月19日、出荷最盛期を前にJA駒越営農拠点で「フジエス枝豆生産者大会」を開き、生産販売方針や出荷計画などについて、市場担当者との意見交換をしました。生産者、JA関係者、市場担当者ら約30人が参加。

分科会では、出荷用の袋を鮮度保持フィルムに変更することに伴い、袋の大きさやデザインを検討したほか、枝からサヤを外す動力脱莢機の導入について、堀直広委員が説明しました。



▲説明に耳を傾けるエダマメ生産者ら

なでしこオレンジ会 24年度産も高品質生産へ

女性の柑橘生産者でつくる「なでしこオレンジ会」は4月12日、庵原支店で2023年度活動報告会を開き、会長に西ヶ谷悦子さんを再任しました。同会は、生産技術の研さんと販売促進のために活動し、報告会には会員とJA職員ら25人が参加しました。

2023年度活動報告と24年度の活動計画のほか、第58回静岡県貯蔵ミカン品評会と第44回静岡県中晩生柑橘品評会の入賞者を報告し、栄誉をたたえました。また、高品質な果実生産のため24年度産の静岡県柑橘重点実行方針などについて確認しあいました。



▲生産技術の研さんと販売促進活動などを行うなでしこオレンジ会

梅ヶ谷ふれあいの里 恒例のタケノコまつり

梅ヶ谷環境保全会と梅ヶ谷自治会は4月21日、清水区梅ヶ谷のふれあいの里で梅ヶ谷タケノコまつりを開きました。

会場ではタケノコの販売をはじめ、梅ヶ谷女性部、地域の各種団体などが出店し、柑橘類や餅などの販売、メダカすくいなどもあり、会場全体が大勢の来場者でにぎわいました。

また、水車小屋付近ではつるしびなも展示され、多くの人たちが興味深そうに眺めていました。



▲盛況だったタケノコまつり

資産管理同友会総代会 運営主体をJAへ移行

JAlしみず資産管理同友会は4月25日、庵原支店で第52回通常総代会を開き、総代など関係者約30人が参加しました。2023年度事業報告並びに収支決算承認の件、今年度より運営主体がJA不動産センターに移行することに伴う会費清算後の残有財産の取扱いの件の2議案が審議され、承認されました。

審議の後は、静岡市役所清水区地域総務課による講演「地震、風水害における防災対策」に耳を傾けました。



▲庵原支店で開いた通常総代会

蒲原地域 おしどり部会 そば打ちで交流

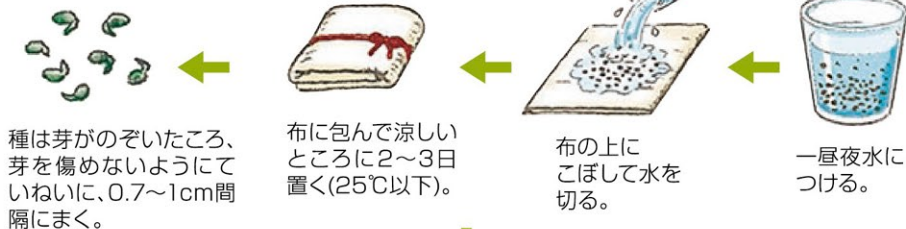
蒲原地域の複数の部会で組織する「おしどり部会」は4月16日、JAlしみず蒲原支店集荷場でそば打ちを行いました。同会は会の名前の通り夫婦での参加を基本として、地域や農業に関する情報交換、生産者やJA職員との親交を目的に、農産物の垣根を越えた生産者同士の交流を約50年前から行っています。

会員の磯部均さんは「親睦を図る意味でも有意義な会」と話し、出来上がった打ちたてのそばに舌鼓を打っていました。



▲量んだそば生地を包丁で切る参加者

① 苗づくり



種は芽のぞいたころ、芽を傷めないように、いねいに、0.7~1cm間隔にまく。

布に包んで涼しいところに2~3日置く(25℃以下)。

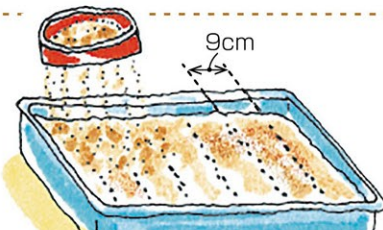
布の上にこぼして水を切る。

一昼夜水につける。

わら(なければ新聞紙を2~3枚重ねてもよい)を敷き涼しい日陰に置く。



芽が伸び始めたら遅れないようにわらなどを取り除く。



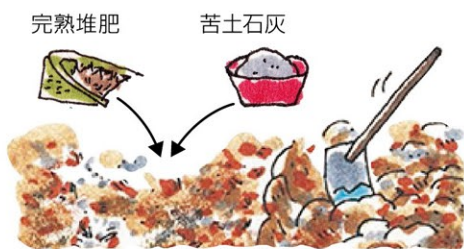
種子が小さいので、覆土は細かいふるいを使い、やっと種子が見えなくなるくらい、薄めにする。

日除けとアブラムシの飛来を防ぐため、生育初期から寒冷紗を被覆する。

本葉3枚のころ苗床に株間15×15cmに移植する。少量なら箱を利用する。

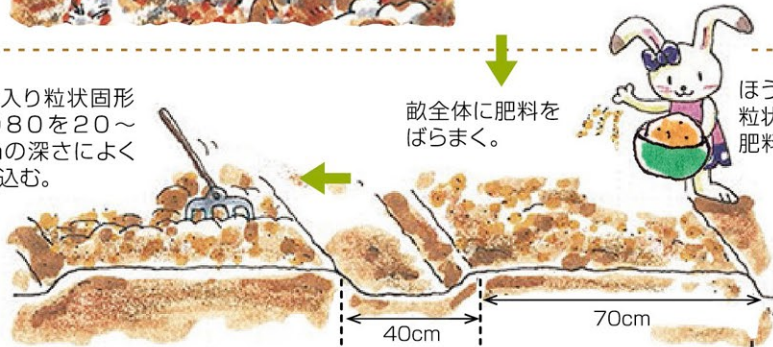


② 土づくり



前作は早めに片付け、定植2週間前に完熟堆肥や苦土石灰を入れて、25~30cmの深さに耕し、よく土づくりしておく。

ほう素入り粒状固形肥料080を20~25cmの深さによくふない込む。



畝全体に肥料をばらまく。

ほう素入り粒状固形肥料080

畑本 本格 づくり

セルリー

葉菜の中では一番肥料が必要な品目のため、植えつけ前によく土づくりをしてから植えつけを行います。追肥もしっかり行います。夏には敷きわらをし、終始かん水を怠らないようにしましょう。また、ウイルスの感染原因となるアブラムシが付きやすいので、定期的な防除が必要です。



■栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培						●	▲					■

● 種まき ▲ 移植 ■ 収穫

■施肥例

種類		施肥量	施用時期・方法
元肥	完熟堆肥	90kg	作付け 2週間前施用
	苦土石灰	9kg	
	ほう素入り粒状固形肥料080	20kg	
追肥	ほう素入り粒状固形肥料080	9kg/1回	④追肥の項を参照

1aあたり

グリーンセンターおすすめ! アイテム

土壌微生物も活性化!



ほう素入り粒状固形肥料080

発根や生育を促進し、一般的な化成肥料よりも肥効が長く効きます! 土壌微生物を活性化させ、元気な土壌をつくります!



グリーンセンター センター長 菅原 章人

■商品については...

グリーンセンター
054-367-2112

④ 敷きわら・かん水・追肥

【かん水】

多くの水分を必要とするので晴天日が続くようなときには、たっぷりとかん水する。

【追肥】

肥料が不足しないよう15~20日おきに追肥する。



【敷きわら】

畝全体に敷いて防乾する。秋になったら取り除く。

ここが知りたい!

Q&A

Q 心葉が黒くなって枯れたが?

A カルシウム(石灰)欠乏症が原因と考えられる。

生育ざかりに入ると若い葉が黒変したり、枯死したりすることがあります。

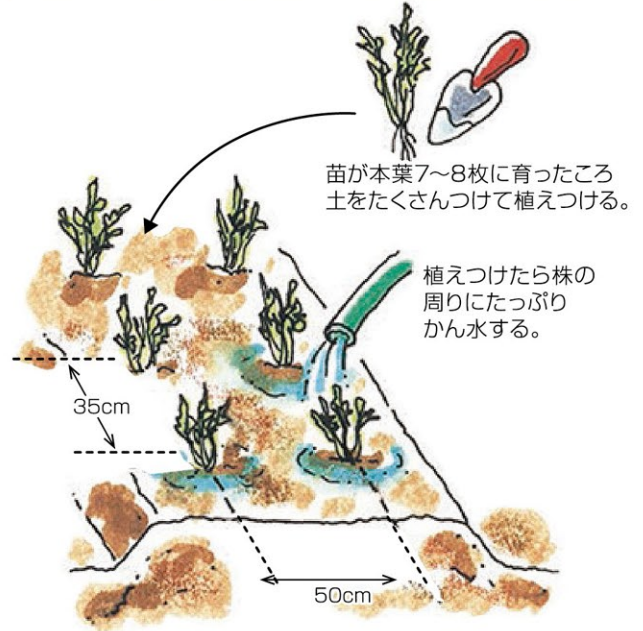
これは、カルシウムの欠乏症状で、生長の盛んな葉にカルシウムが十分に送られないときに起こり、セルリー栽培での大きな障害になることもあります。

栽培に先立って畑には十分に石灰を施しておくことが大切です。ただ、畑にカルシウムが十分であっても、セルリーが順調に吸収できなかったり、体内で移行できなかったりすることもあり、これが欠乏症となって現れます。

この症状には、発生部分を中心にカルクロン(葉面散布用塩化カルシウム)の200倍を散布するのが有効です。



③ 植えつけ



苗が本葉7~8枚に育ったころ土をたくさんつけて植えつける。

植えつけたら株の周りにたっぷりかん水する。

⑤ 防除



【下葉かき】
黄変した外葉はかき取る。

若い葉や外葉の裏にアブラムシが付きやすく、斑点病・軟腐病なども出やすいので注意する。

⑥ 収穫

小さいときから長く利用するには、あらかじめ密植しておき、草丈30~35cmくらいになったものから逐次収穫、利用する。



通常は1.5~2kgくらいに育ったら収穫する。

■病虫害防除

散布量：30Lまで/1a

病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数	使用方法
軟腐病	コサイド3000	2,000倍	—	—	散布
斑点病	アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	3回	散布
アブラムシ類	ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍	収穫3日前まで	3回	散布
	ウララDF	4,000倍	収穫前日まで	2回	散布
ヨトウムシ	アフーム乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回	散布

上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

【ご注意ください】 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。



二番茶摘採以降は、翌年の一番茶に向けた茶樹づくりと土づくりの季節となります。
 翌年の一番茶の親葉となる三番茶の生育が、来年の収量や品質に大きく影響しますので、しっかりと健全に生育させるよう、特に病害虫による加害に注意して管理を行ってください。

■ 二番茶収穫以降はハサミを入れない

夏から秋にかけて健全な葉を多く確保することにより、養分生成能力が高まるとともに根張りも良くなり、総合的に翌年の一番茶の品質を高めることにつながります。

そのためにも、二番茶摘採後は、整枝を含め、浅刈り・深刈り更新は行わず、秋までしっかりと伸ばし、樹勢の回復を図ってください。

※放任管理とは異なりますので、確実な防除・施肥管理を実施してください。

■ 防除(表①)

三番茶芽の萌芽から開葉期にかけては、高温多湿の日が多くなることから、病害虫の発生が増加するため、この時期の防除が年間を通じ最も重要となります。4月に実施した清水全域の茶作柄調査では、山間地を中心に炭疽病と褐色円星病の発生が目立ちました。

病害虫に加害されると、側芽が伸び、弱い芽が増加し、翌年の一番茶収量や品質に影響を及ぼしますので、こまめに園地を巡回し、基準に沿った適期防除を実施してください。

また、一番茶後に更新した茶園では、再生芽の生育ステージに合わせて防除を実施してください。

■ 土壌管理(表②)

茶樹が良好に生育するためには、肥料の施用の他、土づくりが重要です。

化学性の改善(pHの矯正、苦土・石灰の補給)や物理性の改善(深耕や堆肥の投入)は、土壌環境の改善(肥料吸収率の向上・根の張りの良化)を図り、収量や品質の向上につながります。

土壌分析の結果や葉色の状態を確認し、茶園土壌の状態を見極めて、必要な資材を積極的に茶園に投入するようにお願いします。

表①病害虫防除
 【通常管理園】

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
三番茶 萌芽～1葉開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・輪斑病	フロンサイドSC	2,000倍	14日	1回
	チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ チャノナガサビダニ・チャノホコリダニ ツマグロアオカスミカメ・チャトゲコナジラミ	ガンバ水和剤(劇物)	1,500倍	14日	1回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノコカクモンハマキ チャノホンガ・ヨモギエダシヤク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回
三番茶 2～3葉開葉期	炭疽病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	7日	2回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ・チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシヤク・カンザワハダニ チャノナガサビダニ・チャノホコリダニ マダラカサハラハムシ	コテツフロアブル	2,000倍	7日	2回

【一番茶後更新園】

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
更新後の 萌芽期～開葉期	炭疽病・もち病	クミガードSC	500倍	前日	—
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ・ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回
2～3葉 開葉期	炭疽病・もち病	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日	2回
	チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ チャノナガサビダニ・チャノホコリダニ ツマグロアオカスミカメ・チャトゲコナジラミ	ガンバ水和剤(劇物)	1,500倍	14日	1回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノコカクモンハマキ チャノホンガ・ヨモギエダシヤク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回

表② 施肥

(10a当たり)

施肥名	施肥時期	コース名	肥料名	袋数
土壌改良	7月～8月(深耕前)	「基本」「こだわり茶園」 「省力ロング」	苦土石灰(粉)	5袋

※苦土石灰(粉)が施用しづらい場合は、苦土石灰(粒)に変更してください。

■ 病害虫防除

表①を参考に防除を実施してください。黒点病薬剤は、散布後から30日経過および累積降水量が概ね250mmを越えると薬剤効果が低下します。農薬散布は前回散布以降の降水量を確認すると共に、アピオンE 1,000倍を加用し、耐雨性の向上に努めてください。

スリップスの発生に注意し、散布時期を調整してください。

また、日焼け防止対策として、炭酸カルシウム剤を散布してください。

表① 病害虫防除

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
青島温州	7月上中旬	チャノキイロアザミウマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
	7月下旬~8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
中晩柑	7月上中旬	チャノキイロアザミウマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×
	7月下旬~8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ベンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

【その他温州・中晩柑共通注意点】

- ・耐雨性向上を図るため、黒点病防除薬剤散布時には、アピオンE 1,000倍を混用散布する。
- ・夏期は原則ミカンハダニの天敵保護に努める。しかし、多発圃にはコロマイト水和剤2,000倍(7日-2回)を散布する。

【温州注意点】・昨年サビダニ発生圃では7月上中旬にマッチ乳剤3,000倍(14日-3回)を散布する。

【中晩柑注意点】・かいよう病多発圃ではクレフノン200倍加用、クプロシールド2,000倍(-)を定期的に散布する。

表② 摘果

品目	対象品種	全摘果する果実	残す果実	摘果方法	摘果時期目安	最終適正葉果比
中晩柑	はるみ	直花果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	・外周部の有葉果 ・10cm以上で5枚程度の有葉果	1回目まで70~80%を摘果後、その都度摘果	着果過多樹 生理落果後~8月中旬 着果過少樹 7月下旬~8月中旬	120枚に1果
	太田ボンカン	直花果、短い有葉果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	・果梗枝の細かい有葉果	直花果、短い有葉果から摘果	生理落果後~9月上旬まで	100~120枚に1果
	不知火	直花果、短い有葉果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果		1回で摘果を仕上げる		120枚に1果
	清見	直花果、短い有葉果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果		1回目まで70~80%を摘果後、その都度摘果	生理落果後~7月中旬まで	80~120枚に1果

※着果の多い樹から摘果に取り組んでください。

表③ 摘果

品目	摘果方法	条件	摘果方法	摘果終了時期目安
青島温州	樹冠上部全摘果	春芽の発生が全くない場合	上部1/2を全摘果	早生:7月上旬 青島:7月中旬
		春芽の発生が少ない場合	上部1/3を全摘果	
	枝別全摘果	着果量が著しく多い場合	直径5cm程度の枝を4本全摘果	
	片面全摘果		樹を半分に分け、片方を全摘果	

■ 管理作業

中晩柑は早期に摘果することにより、減酸と肥大が促進されます。また、樹勢の維持や連年安定生産にもつながります。

青島温州では隔年結果是正のため、着果が著しく多い樹に対して樹冠上部や片面、枝別の全摘果に取り組んでください。

摘果方法は表②③を参考にしてください。摘果後、夏芽が発生します。発生した夏芽がミカンハモグリガやアゲハチョウの幼虫の被害を受けないように追加防除が必要になります。

■ 中干しの重要性

水稲では、穂になる茎数(有効分けつ)が確保されるまでに田植えから30~35日かかり、それ以降(田植え後35日~出穂前30日頃)に増える茎は穂の実らない不要な茎(無効分けつ)となります。この無効分けつを抑えるために、中干しを行います。

中干しは、田植え後30~40日頃を目安に、1株あたりの茎数が20本程度になった時期に開始します。中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡が付く程度です。目安は約2週間ですが、地力や排水性など土質の条件に応じて強さや期間を調節してください。

施肥省力コース(元肥一回処理)の場合は、中間の肥効を抑えるために必ず行います。また、中干し後の入水により肥料(穂肥と同じ効果)が効きますので、穂肥時期に入水するようにしてください。

■ 穂肥の施用

穂肥は一穂粉数の減少を抑え、出穂期までの稲体窒素濃度を高め、登熟を良好にすることを目的としています。ただし、穂肥の使用時期が早すぎたり、量が多すぎたりすると病害や倒伏が発生しやすく、遅れると穂が小さく粉数が減少する傾向があります。



生産履歴簿や栽培暦については、JAの各営農窓口までお問い合わせください。



■ 管理作業

乾燥期は適宜かん水に心掛けてください。イチジクは、葉や果実に水がかからないよう注意してください。

キウイフルーツ、柿の枝葉が過繁茂となっている場合は適度に夏季せん定を実施してください。

■ 病虫害防除

柿のカキノヘタムシガは、虫が果実に侵入した後では薬剤散布の効果がありません。侵入前の防除を実施しましょう。

害虫は発生初期が防除のタイミングです。表を参考に防除してください。

表① 病虫害防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}
イチジク ^{※2}	7月上旬	アザミウマ類、キボシカミキリ	モスピラン顆粒水溶性(劇)	2,000倍	前日-3回
		さび病	トリフミン水和剤	2,000倍	前日-3回
		黒かび病	トップジンM水和剤	1,000倍	7日-5回
	7月中旬	カンザフハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日-1回
	7月下旬	黒かび病	ロブラール500アグア	1,000倍	3日-3回
柿 ^{※3} (次郎・四ツ溝)	7月上旬	落葉病、炭疽病	エムダイファー水和剤 または、ペンコゼブ水和剤	500倍	45日-2回
	7月中旬	カキノヘタムシガ、ハマキムシ類	フェニックスフロアブル または、サムコルフロアブル10	4,000倍 5,000倍	7日-2回 前日-3回
キウイフルーツ (ハイワード・ 東京ゴールド)	7月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤 または、ロブラール水和剤	1,000倍	前日-5回 前日-4回
	7月中旬	クワシロカイガラムシ 果実軟腐病	コルト顆粒水和剤 トップジンM水和剤	3,000倍 1,000倍	前日-3回 前日-5回
梨(幸水・豊水)	7月上旬	輪紋病・黒星病	ベンレート水和剤	3,000倍	前日-4回
		ハマキムシ類、シンクイムシ類	フェニックスフロアブル	4,000倍	前日-2回
	7月中旬	ハマキムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類	テルスター水和剤	1,000倍	前日-2回
		輪紋病、黒星病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	前日-3回
7月下旬 ^{※4}	シンクイムシ類、カメムシ類	スタークル顆粒水溶性	2,000倍	前日-3回	

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

※2 アザミウマ類の多発が心配される場合は7~9月に次のいずれかの薬剤を散布する。アディオン乳剤2,000倍(前日-2回)、スカウトフロアブル(劇)2,000倍(前日-3回)、コテツフロアブル(劇)2,000倍(前日-2回)対象はヒラズハナアザミウマ。

※3 カメムシの発生が多い場合は、次のいずれかの薬剤を散布する。テルスターフロアブル(劇)3,000倍(3日-2回)、ロディー水和剤(劇)1,500倍(7日-3回)、アグロスリン水和剤(劇)1,000倍(前日-3回)、スタークル顆粒水溶性2,000倍(前日-3回)、アドマイヤー水和剤(劇)1,000倍(7日-3回)、キラップフロアブル2,000倍(7日-2回)。

※4 7月下旬にハダニ類が多発した場合は、カネマイトフロアブル1,000倍(前日-1回)、またはスターマイトフロアブル2,000倍(前日-1回)を散布する。

目で楽しむ果樹

目

本農業新聞に、高知県仁淀川町の花モモが満開を迎え、里山に春の訪れを告げているとの記事がありました。ここでは、80代と90代の茶農家さんが約50年前から少しづつ花モモを植え続け、現在では2,000本にまでなっ

たそうです。

さて、この花モモですが、江戸時代には品種改良が盛んに行われ、現在利用されている品種はこの時代に改良されたものが多いそうです。

例えば、樹の姿について、わい化した花モモや枝垂れ性の花モモ、枝が箒(ほうき)のように直立する花モモなどがあります(写真参照)。この箒モモは江戸時代から栽培されていたわが国独自の観賞用モモですが、日本からアメリカに渡り、そこからヨーロッパなど世界各地に伝播しました。枝が直立し占有面積が小さいため、植栽スペースが狭い都市空間の緑化に適していたのだと思います。

また、花の色も、白、ピンク、赤色のほか、一株に異なった色の花が咲く「咲き分け」があります。さらに、花の咲き方についても、一重咲きや八重咲きのほかに、花びらが細く筒状に巻く八重咲きの菊咲き性があるそうです(写真参照)。

さて、仁淀川町の花モモ林では、一面に白、ピンク、赤色の花が咲き誇り、ほのかに甘い香りが漂い、まさに「桃源郷」のようではないでしょうか。

農にまつわる
エ・ト・セ・ト・ラ
et cætera

農業にかかわるよもやま話を
不定期にお届けします。

第10回



菊咲き性の花モモ

写真提供:農研機構果樹研究所



農研機構果樹研究所が育成した枝垂れ性の花モモ「ひなたのき」

写真提供:農研機構果樹研究所



神奈川農業技術センター・生産技術部が育成した箒性の花モモ「照手桃」(左)、「照手白」(中)、「照手紅」(右)

写真提供:神奈川農業技術センター・生産技術部



スマホでもチェック!

材料
6本分

- ・キュウリ …………… 1本
- ・鶏胸肉(皮付き) …… 100g(1/3枚)
- 酒 …………… 小さじ1
- A 砂糖 …………… 小さじ1/2
- 塩 …………… 小さじ1/4
- 植物油 …………… 大さじ1
- 五香粉 …………… ひとつまみ
- 白ネギ(白いところのみ) …… 1本
- サンドイッチパン(12枚切り) …… 2枚
- 甜麵醬 …………… 少々
- 春巻きの皮 …………… 6枚
- 植物油 …………… 適量
- 水 …………… 大さじ1/2
- 薄力粉 …………… 大さじ1/2

*彩りとして「シャントアイ」「ミニトマト」など



キュウリの焼き春巻き

～揚げずにヘルシー、さっぱり軽やかな食べ応え～

作り方

(1) キュウリを調理する

- ① キュウリは上下を切り、板ずりしてサツと洗い流し、水気を拭く。縦半分に切り、スプーンでタネをかきだす。長さを半分に切り、さらに縦方向に半分に切る。
- ② それぞれを放射線状に3等分し、細めのスティックを24本作る **a**



キュウリ1本から
このスティックを
24
ります。

(2) 他の材料の準備をする

- ① 鶏胸肉の皮をはずして「鶏皮せんべい」を作る。耐熱皿に鶏皮を広げ、ゆるくラップをかけて、10gにつき1分を目安に加熱する。様子を見ながら、焦げた臭いがしたら、すぐに止めて冷ます。
- ② 鶏胸肉は繊維を断ち切る方向に、1cm厚、6枚にそぎ切りにする。Aをふ

り、10分置いておく。

- ③ 白ネギは斜め45度に、できるだけ薄く切る。サンドイッチパンは、長い辺を3等分に切り、満遍なくごく薄く甜麵醬を塗る。
- ④ 水と薄力粉を混ぜて「のり」を作る。

(3) 具材を加熱する

- ① 冷たいままのフライパンに油大さじ1を入れ、五香粉を振り入れる。
- ② 鶏胸肉の水分を軽く拭き、油をつけながら、重ならないように並べる。火をつけ、ごく弱火で3分加熱する。裏返して3分加熱する。取り出して冷ます。
- ③ そのままのフライパンに白ネギを入れ、食感が残る程度に強火でサツと火を通す。取り出して冷ます。

(4) 春巻きを巻き、焼く

- ① 春巻きの皮をはがし、ツルツルした方を下にして、上下左右に「角」がくるように置く。

- ② 横対角線の少し下に、甜麵醬を塗った面を上にしてパンを横長に置く。パンの上に、ネギを広げ、その上にキュウリを4本、その上に鶏胸肉を置く **b**



下からパン、ネギ、
キュウリ、鶏肉を重
ねて皮を巻いていき
ます。

- ③ 春巻きの皮の手前角をパンの下に入れ込みギュッと手前に引きながら、くるりと1回巻く。出てきた面に鶏皮をのせ、左右の皮を内側に折ってから、さらに巻く。
- ④ 巻き終わりの皮の角周辺に「のり」を塗って巻き、しっかり止める。
- ⑤ 冷たいままのフライパンに植物油を引き、巻き終わりを下にして春巻きを並べる。弱めの中火で時々返ししながら、皮にこんがり焼き色をつける。彩りを添える野菜類とともに盛り付ける。

まめ知識

もう1品

キュウリとしらすの冷やっこ

【材料】作りやすい分量

キュウリ…1本、釜揚げしらす…50g、豆腐…お好みの量 【調味料】太白ごま油…大さじ1、粉末鶏がらスープ…小さじ1、ショウガすりおろし…大さじ1

【作り方】

- ① キュウリは上下を切り、板ずりして洗い、水気を拭く。縦方向・放射状に8等分し、端から7mm角に切る。
- ② 調味料をよく混ぜ合わせ、キュウリとしらすを加えて混ぜる。豆腐の上のにせる。



【今月の素材】

キュウリ

直近3年間の生鮮野菜購入金額は、トマト、タマネギにつぎキュウリが3位。「甘い/高栄養価/カラフル」が売れる野菜の条件とされますが、地球沸騰時代の暑さとタイムパフォーマンス重視の世の中で、手軽に水分補給できるキュウリの健闘が光ります。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロNR、食育プロデューサー他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



SDGsは国連が定めた、地球の明るい未来のための17の目標。

JASみずは2019年12月にSDGs宣言をしています。

農業の未来とSDGs

vol.29



国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の理念は、協同組合の「相互扶助」の活動に通じます。

このコーナーでは、JAのSDGsともいうべき協同活動を中心に、自己改革や新たな取り組みを紹介していきます。



(左から)石切山組合長、応援団長の春風亭昇太さん、あしなが育英会の玉井義臣会長(2024年しみずみらい応援団寄付金贈呈式にて)

5年間で1900万円を寄付 「しみずみらい応援団」食で地域支援も

農業を通して子どもたちの未来を応援する取り組み「しみずみらい応援団」は、JASみずが農家から直接買い取った農産物の売上の一部(3〜5%)を「あしなが育英会」に寄付する社会貢献活動です。

あしなが育英会は、親を亡くした子どもや、障害などで親が働けない家庭の子どもたちを奨学金や教育面で支援する団体で、寄付によって

子どもたちの未来や夢の実現を応援しています。

応援団は2019年に発足し、2023年度は、377万円余りを寄付しました。発足から5年が経ち、これまでの累計額は約1900万円に上ります。

趣旨に賛同した清水区出身の落語家・春風亭昇太さんが当初から応援団長を引き受けてくださり、都内の



清水区内の子ども食堂に「清水の檸檬紅茶」を寄付

あしなが育英会事務所で開催贈呈式には、毎回駆けつけてくださっています。

今年オープンした「きらり公式オンラインショップ」では、会員になると購入できる「しみずみらい応援団」限定商品を展開し、支援の輪を広げています。

食で地域にも貢献

2023年度はあしなが育英会への寄付に加えて、清水区の「子ども食堂」にもJASオリジナル商品「清水の檸檬紅茶」を贈り、活動を支援しました。

子ども食堂への支援は初めての取り組み。石切山誠組合長は「地域社会へ貢献・還元することも、JAの大きな役割」と話しています。

また、JA静岡中央会を通じて能登半島地震で被災した自治体などにも檸檬紅茶を届けました。

地域社会の一員として、今後は子ども食堂など地元の福祉団体への活動支援にも取り組み、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長できるように、食と農を通して、支援を続けていきます。



総会に参加する部員と関係者



新年度役員と各支部長(後列左4番目より佐藤副部长、青木部長、渡邊副部长)

Let's have turn!

青壮年部の活動報告

いまどき! Youth

ユース

このコーナーでは、青壮年部の活動の様子を隔月で紹介しています。
 今月は第51回青壮年部通常総会を取り上げ、2024年度の活動と事業目標を紹介します。

次世代へつながらる持続可能な農業経営を目指して

青壮年部は4月19日、庵原支店2階大会議室で通常総会を開き、2023年度事業報告、24年度事業計画などを承認し、24年度の役員を決めました。部長の青木雄基さん、副部长の佐藤寛之さんが再任され、新たに渡邊遼平さんが副部长に就任しました。総会には、青壮年部部員とJA関係者など約30人が参加。

昨年度から新型コロナウイルスの感染症指定が5類に移行し、社会全体が活気を取り戻しつつあります。本年度はさらなる「農業所得の向上」、「農業継承」、「組織強化」に向け、JAと共に未来に進むことを確認しました。

前年度の新しい取り組みとして、イチジクの育苗成を2月から開始し、部員が各自の畑で育て、所得向上への試行をしました。また、経営改善に向けた活動として、効率的な農業資材管理のために見落とされがちな倉庫の整理を行いました。農政広報活動では、若手県での視察研修活動や、青壮年部活動の拠り所となる「ポリシーブック」の改正を行い、組織運営をより効率良く行いました。

自然災害や異常気象による被害と、世界情勢の変化を背景とした円安、燃料や資材の高騰は、依然として農業を直撃しています。青壮年部では、前年からの取り

組みを引き継ぎつつ、2024年度は、5年後10年後の姿を見据え、「共に学び、助け合い、そして成長する」を实践していくことを共有し、総会を締めくくりました。

部長		副部长	
高部	青木 雄基	小島 清	佐藤 寛之 渡邊 遼平
支部長		顧問	
興津	青木 亮太	飯田	牧田 明
小島	副部長兼務	高部	田島 久資
両河	山崎 貴正	清水	池田 進吾
庵原	朝倉 佑樹	有度	中野 弘大
袖師	池田 育生	由比・蒲原	石切山 和啓
監査委員		顧問	
興津	北川 慎悟	両河	滝 敏弘
有度	吉田 仁		

部員のひとこと

2024年度の目標達成のため、部員全員で力を合わせませす。組合員、役職員の皆さま、ご協力をお願いします。



JA青壮年部 部長 青木 雄基さん

静岡市多様な担い手育成支援事業

市内の中堅農業者を育成し、農業の多様な担い手を確保するため、市内の市街化区域を除く区域の農地における生産活動などに必要な農業用機械の導入や施設整備に対する支援を行います。

■ 対象者

市内に住所を有する農業経営主で、次のいずれかに該当する人（認定農業者・認定新規就農者を除く）

- 1 開業届を提出した日から1年を経過していない人
- 2 開業届を提出した日から1年を経過した人で、前年の農業収入が50万円以上である人

■ 補助対象事業および補助率(限度額)

※いずれも消費税を除く(1,000円未満の端数切捨て)

市内の市街化区域を除く区域の農地において生産を行う次の事業

- 1 農作物の生産のための施設の設置
- 2 洗浄および梱包、または販売のための施設の設置
- 3 農業用の機械、または器具の購入

上記補助対象経費の1/3以内の額(上限30万円)

■ 申請期限

2025年2月28日(金)まで

※期間内でも予算の状況により、受付を終了しますのでご注意ください。

■ 注意事項

- ・申請は3年度*に1回のみです。
- ・同一年度内に市が交付する他の農業経営に関する施設・機械の導入を支援する補助金の交付を受けることはできません。

*1年度(4月～翌年3月)

■ お問い合わせ

静岡市役所 農業政策課 農業支援係

TEL:054-354-2086

E-mail:nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp



静岡市いきいき都市農業推進事業

静岡市では、市街化区域内で農業を営む方を対象とした支援事業を行っています。

市街化区域内で生産・出荷調整・加工販売など農業経営に必要な施設整備・機械の導入にかかる経費を補助します(申請は1経営体あたり年1回限り。なお、本事業と類似の補助金との併用はできません)。

※生産資材(種苗、肥料、農薬など)や汎用性のあるもの(スコップ、くわ、小農具、軽トラックなどの車両、パソコンなど)および雨水貯水タンク200L以上や自主施工のための材料費は補助の対象になりません。

■ 対象者

市内に住所を有し居住する農業経営主で、市街化区域内の農地(借地でも可)で営農活動を行い、前年の農業収入(家事消費や雑収入は除く)が50万円以上ある方

■ 補助対象事業および補助率(限度額)

※いずれも消費税を除く(1,000円未満の端数切捨て)

- 1 市内の市街化区域内農地における生産活動に必要な施設・設備・機械の導入に要する経費の1/3(上限30万円)
- 2 ①のうち、環境に配慮した施設・設備・機械の導入に要する経費の1/2(上限30万円)
※園芸施設におけるヒートポンプや化石燃料を使用しない充電式草刈機等が補助の対象となります。
- 3 市内の市街化区域内の市民農園の整備や改修などに要する経費の1/2(上限50万円)

■ 申請期限

2025年1月31日(金)まで(2024年度最終受付)

※申請は、月末ごと締め切ります。

■ お問い合わせ

事業の詳細や申請方法などはホームページをご覧ください。か、下記までお問い合わせください。

静岡市役所 農業政策課 農業支援係

TEL:054-354-2086

E-mail:nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp



清水厚生病院

4月より新しい医師6人が赴任しました

今後も地域の皆様に安心して信頼される診療体制を整えてまいります。お気軽にお問い合わせください。

整形外科

遠藤 伶於奈
えんどう れおな [常勤]

【診察日】
火曜日
8:30~11:00



コメント
親しみやすい診療を心がけてまいります。よろしくお
願い致します。

上原 範大
うえはら のりひろ [常勤]

【診察日】
月曜日・金曜日
8:30~11:00



コメント
地域医療に貢献するようがんばりますので、よろしく
お願い致します。

志村 優介
しむら ゆうすけ [常勤]

【診察日】
水曜日
8:30~11:00



コメント
皆様の力になれるよう心がけてがんばります。よろし
くお願い致します。

リウマチ科

京田 俊介
きょうだ しゅんすけ [常勤]

【診察日】
月曜日・水曜日
8:30~11:00



コメント
スキルアップを目指して真摯に取り組みます。静岡の
いい所をいっぱい見つけたいと思います。よろしくお
願い致します。

総合診療内科

林 良郎
はやし よしろう [非常勤]

【診察日】
水曜日
13:30~16:00



耳鼻咽喉科

林 暁利
はやし あきとし [非常勤]

【診察日】
火曜日
14:00~16:00



JA静岡厚生連 清水厚生病院

静岡市清水区庵原町578-1
TEL:054-366-3333(代表)
FAX:054-364-5503

問い合わせ・予約 平日14:00~16:30
電話にてご予約ください。

外来受診 初診/平日8:30~11:00
再診/平日7:30~11:00

ホームページが
リニューアルしました!



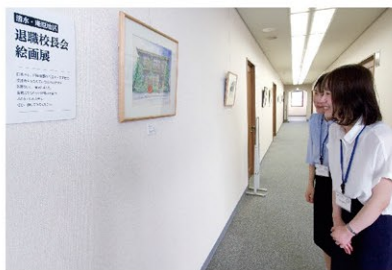
■ 議事

- 貸倒引当金の引当について
- 不良債権(個別債務者)の処理の方針について
- 2024年度事業計画の設定について【通常総代会提出議案】
- 自己改革工程表の策定について【通常総代会提出議案】
- 定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更について【通常総代会提出議案】
- 静岡市補助金等交付規則に基づく補助金の交付申請、請求、受領および実績報告等についての権限の一切を組合に委任することについて【通常総代会提出議案】
- 子会社の取締役候補者の推薦について
- 清水農協農政対策協議会規約の一部変更について
- 共済規程の一部変更について
- 2024年度余裕金運用計画額および運用方針の修正について
- 理事に対する貸出議案について

来店者に心とむ空間を 絵画作品を本店に展示

来店者に心とむ空間を提供しようと、旧清水市、旧庵原郡の公立小・中学校で、校長先生をされていた「清水・庵原地区退職校長会」会員の制作した絵画作品をお借りし、JAしみず本店4階の廊下に展示しています。展示作品はカラーボールペン画、水彩画、ちぎり絵、手芸、油絵など多彩な手法で制作された14点。

昔教えてもらった懐かしい恩師の名前があるかもしれませぬ。来店の際はぜひ、ご覧になってください。



▲作品は本店4階に展示中

静岡市ふるさと農力チャレンジ事業

「新商品製造のため加工用機械を導入したい」、「新商品パッケージデザインを業者に依頼したい」といった加工や販売を行うことで所得向上を目指す新たな取り組みに対し、静岡市が補助する制度です。



■ 対象者

市内の農業者、農業法人および農業者等の組織する団体

■ 補助対象事業(新規事業に限ります)

- 1 農産物の加工用の機械・器具の導入
- 2 新商品開発に伴うマーケティング調査・講習会等の開催
- 3 農産物の販路拡大等を目的としたイベントの開催・出展 など

■ 補助率(限度額)

補助対象経費(消費税抜き)の1/2以内(上限50万円)

■ 注意事項

申請の1カ月前までに必ずご相談ください。予算上限に達し次第、申請受付を終了します。

■ お問い合わせ

静岡市役所 農業政策課
みかん・園芸・畜産係

TEL:054-354-2091

E-mail:nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp



「ごちそうカントリー」でプラムを紹介



日 午前11時40分放送 45分



静岡県のJA提供番組「ごちそうカントリー」でプラムが紹介されます。ぜひご覧ください。

■ 番組 静岡第一テレビ「ごちそうカントリー」

■ 放送日 7月7日(日) 11:40～

第52回通常総代会のお知らせ

第52回通常総代会を下記のとおり開催します。

■ 開催日 6月18日(火) 9:30開会

■ 場所 清水テルサ
静岡市清水区島崎町223

■ 決議事項 ・2023年度事業報告
・2024年度事業計画

編・集・後・記

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

静岡ホビーショーに行ってきました。毎年行っているのですが年々来場者が増えている感じで、人気のブースは身動きがとれないくらいです。最新の情報を得ることも大事ですが、まずは自宅に積みまくりのプラモデルをどうにかせねばとあらためて思いました。(山梨)

今年もすでに6月。あと半年で令和6年は去っていく。自分の時間の流れをなんとか世の中に合わせて、今年57個目の一里塚を通過した。表紙のように波が打ち、風が吹き寄せる毎日が無事過ぎていくように祈って、蕎麦で一杯やるのが楽しみになってきたこの頃。(横谷)

食事の支度をしながら、ふとリビングに目をやると、工作に夢中の娘と床一面に散らかった道具と作品。地獄絵図とはまさにこのこと。取りあえず冷蔵庫に頭を突っ込んでみた。「頭を冷やす」とはよく言ったもので、物理的に冷やしてみたら案外落ち着いた。(杉山さ)

友人の新築祝いに1万3000円のウイスキーを購入。ウイスキーに詳しくないため、店頭にあった「お1人様1本限定!」のポップを信じて買ってみました。道中も割らないように新築へ。ウイスキー好きの友人も持っていないボトルだったようで一安心しました。(見宮)

